

市の就学前施設の現状



幼稚園だけでなく、保育施設も含めた
“就学前教育プログラム”の確立が必要

市独自の就学前教育プログラム!

「エージェンシー」に注目

「海外の教育先進国」と「寝屋川市」は、子どもが困難な時代を生き抜くための力として「エージェンシー」に注目しています。

他者と関わりながら、自ら考え、主体性、自主性を持って行動できること、また、自分でできることや年齢に応じて自立している状態

令和5年に市は“寝屋川市就学前教育・保育プログラム”を策定し、「考える力」を育成する「エージェンシー型」の就学前教育に取り組むこととしました。



子どもたちの「精神的自立」のためには「対話」することがポイント

寝屋川市の子どもたち全員に、困難な時代を生き抜くための力を身に付けてほしい!!



教育先進国の例を取り入れた、就学前教育の取り組みをスタートします!!

子育て世代から
選ばれるまちになるために

特集 寝屋川市独自の

新しい
保育施設・幼稚園
の学び

就学前教育が
スタート!!

問 保育課 (☎ 812・2552)

今年度から、市内の民間教育・保育施設と全ての市立幼稚園・保育施設に、市独自の就学前教育プログラム「エージェンシー型の教育」が取り入れられています。

海外の教育先進国の例 (「子育て・教育総合支援本部令和3年度活動報告書」から引用)

ノルウェー



北欧の教育・保育「エデュケア」モデルを实践

- 遊びの中にもクリエイティビティ、探求などが取り入れられている
- 初等教育以降も、主体性を重視した対話の取り組みが行われているなど

フィンランド



6歳~7歳の教育施設「エシコウル」で育む能力

- 自分で考え、学ぶことのできる能力
- いかに自分もつ文化を大切に思い、それを表現する能力を育むか
- 自尊心をもち、自立した生活をする能力
- 多様な状況やメディアにおける言語表現と親しみ、使い分ける能力など

世界幸福度ランキング上位の国々では、
就学前教育が確立されている!

子どもはどう変わった!?

これがディベートにつながると聞いて、寝屋川市スゴイ!
「もっとやって」と思っちゃいました(笑)

今までは「なんでそう思ったの?」と理由を聞いても「わかんない」だったのが、「どっち、どっちタイム」の取り組みが始まってからは「この服の色が好きだから!」と理由をはっきり言うようになりました。日常でも他人の意見を聞いて、自分の意見に反映しているようで、とても驚きです。ディベート教育にも期待です!



松本さん(5歳児クラス)



自分が考えたことについて、なぜそう思ったのか理由を細かく「説明」してくれるようになったので困っています(笑) 引っ込み思案だったのが、こんなに自分の意見を言うようになったなんて驚きですね!

山本さん(5歳児クラス)

家でよく「どっち、どっち」を出題されます。私への問いを考えているときの顔は真剣そのもの! よく聞くと、遊びに行く先を決めるのに悩んだりします(笑)

高橋さん(5歳児クラス)



そしてつながる、市独自の「寝屋川教育」へ!

「考える力」の育成

ディベート教育の推進



市で統一された学習法「ねやがわスタンダード」



“エージェンシー型”
就学前教育の取り組み



0歳から15歳までの15年一貫教育を実現!

中学生

小学生

0歳児~5歳児

初公開!

実録レポート

寝屋川市独自の「エージェンシー型」就学前教育の実践風景取材しました!
楽しく実践中!! 「どっち、どっちタイム」

「どっち、どっちタイム」って何だ?

子どもの「考える力」を育成するための「エージェンシー型」就学前教育を、「どっち、どっちタイム」という取り組みで実践しています。
「どっち、どっちタイム」は、日常のいろいろな取り組みの中で、2つの選択肢のうちどちらを選ぶかを子ども自身で考え、その「理由を発表」したり、別の意見を聞いた後に再度選択肢についてたずねたりするなど「対話」を重ねることで、「考える習慣」を身に付け「考える力」「説明する力」「他人の意見を聞く力」につなげることが狙いです。

「寝屋川教育」につながる

選択の理由を考え、発表することを通じて「対話」を重ねる「どっち、どっちタイム」で「考える習慣」を身に付けることが、ディベート教育をはじめとした「寝屋川教育」の基盤となり、0歳から15歳までの15年一貫教育の実現へとつながります。



運動会で取り組む「ピーターパン」。今日は、運動会当日に向けてイメージを膨らませるため、自分たちで作ったネバーランドを舞台にして「どっち、どっち」がスタートします!



もし、みんながネバーランドに行くなら「空を飛んでいく?」「船に乗っていく?」どっち、どっちかな?



「ネバーランドは雲の上にあるから空を飛んで行く!」「本を読んだときピーターパンが船に乗っていたから船で行く!」次々と手が挙がり、意見が飛び交います。



みんなの話を聞いて、意見を変えようかな~っていう人はいますか? これも待ち構えたように、次々と手が挙がります。「船で行くと思ったけど、雲の上にあると聞いて、そうだなと思った。空を飛んでいきます!」友だちの意見を自分の意見に取り入れて、対話が弾んでいます。

